

修学旅行が終わって、1週間も過ぎてしまった。子どもの1週間と大人の1週間は体験的な速さが違うと聞いたことがあるが、あっという間だった▼心配されていた天気も校長の根拠のないジンクスが今年も大当たり。2日間好天に恵まれた。この数年間で最も混雑する2日間という予想もしていたが、そのことよりも、行く先々で修学旅行の団体以外は、インバウンドと思えるぐらい外国からの観光客であふれていた▼大変申し訳ないことであるが、そのおかげで、あらためて子どもたちの見学先でのお行儀のよさに触れることができた▼見学先では、たいてい撮影スポットがある。今どきの言葉で言えば、「ばえる」というのだろうか。日本の修学旅行の子どもたちは、順番を待って並ぶ。その列を通り抜けて、堂々と横入りしていく人たち。横入りには様々な場所で遭遇した▼外国の方と比べることなく、子どもの素敵な姿を見つけてくれた方がいた。バスガイドさんがこんな話をしてくださった。①様々な場面でしっかりあいさつができますね②二条城での靴の並べ方は、驚きしかなかった。思わず写真をとりました▼子どもは修学旅行だから頑張ったわけではない。「日々是日常」の成果が修学旅行先で見えただけのことだ。ただ、靴の並べ方は、奇跡かもしれない▼翌月曜日、6年生の下駄箱をのぞいて、思わず笑ってしまった。彼らは豆太だった。